

第17期
事業報告書

自 2025年 4月 1日

至 2026年 3月 31日



／ みつけた！私にできること。 ／

一般社団法人
盲導犬総合支援センター

第17期事業（2025/4/1～2026/3/31）について

当期を振り返るにあたり、まずは任意団体時に最初の事業として手掛けたECサイト「盲導犬サポートSHOP」が、開設20周年を迎えました。季刊カタログも80号の発刊となり、2005年より多くのお客様、企業の皆様に支えられ、数々の温かい応援を賜りましたことに、心より御礼申し上げます。

また、第1期400名からスタートした「FANCLUB会員」につきましても、2026年1月をもって第10期を迎えることができました。現在は1,200名のFANCLUB会員の皆様に支えられ、私たちの盲導犬応援事業の中核的な基盤として成長するとともに、長年にわたり培われた強い信頼とつながりを実感しています。

一方で国際情勢においては、長期化するロシア・ウクライナ情勢に加え、中東地域における緊張の高まりなど、依然として不安定な状況が続く中、円安の進行や物価高騰の影響による様々なコスト上昇も年明け以降再び強まり、次年度に向け事業運営を取り巻く環境は、一層予測が難しい状況になっています。

しかし、どのような環境であれ、私たちの進むべき道、やるべきことの本質は変わりません。そのような中でも、応援してくださる方々の想いと、つながりの温度を大切に、育成団体をはじめ、盲導犬ユーザー・ボランティア、被災犬支援などへ「変わらぬ安心と安全」のサービスを提供し続けることができたことは、大きな成果であり、私たちの誇りです。

また、2014～2015年にかけて経験した債務超過の危機以降、10年連続での売上高前年比増を達成することができました。

この継続の第一の源泉は、2016年に掲げたスローガン「みつけた！わたしにできること」です。誰かのために自分にできることを考え、行動に移し、小さなことを一步一步誠実に積み重ねることを事業現場で実践し、信用と信頼を築いてきた結果であると信じています。

そして、第二の源泉として、「ビジネスとサポート」という組織での学びです。ソーシャルビジネスを営む中では様々な考え方がある中、過去の成功と失敗から得た教訓が、組織の中で普遍的なキーワードとして共有され、ビジネスの成長を追求する姿勢を貫いてこれたからに他なりません。

2026年2月には、コロナ禍以降7年ぶりとなる自主開催イベント「富士ハーネスバスツアー」も実施されました。盲導犬ユーザー25名、盲導犬24頭、FANCLUB会員39名が参加した1日では、たくさんの笑顔と、それぞれの想いが支え合う温かな時間となりました。

これからも新しい「つながり」を生みつつ、これまで育んできた「つながり」を大切に、より具体的で親しみやすい普及活動を、皆様とともに進めてまいります。

今後とも変わらぬご愛顧賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

それぞれの事業の詳細は、以下の通りとなります。

1. 店舗事業

(1) 神奈川、仙台、富士宮（計3店舗）で商品販売を行った。

- (i) 全国の盲導犬ユーザー、飼育ボランティアへの飼育用品販売
- (ii) 日本盲導犬協会へ犬具及びドッグフード販売
- (iii) 共同訓練中ユーザーへの推薦される飼育用品紹介と販売
- (iv) 施設見学者、来訪者に対してのチャリティーグッズ販売
- (v) 施設外イベントでのチャリティーグッズ販売

A) 日本盲導犬協会との共同参加イベント

- ・コミックシティ東京 12回、流山おおたかの森 SC 1回、我孫子産業まつり 1回、西武東戸塚店もっと知ってキャンペーン1回、ヘッケルクリスマスラリー1回、玉川高島屋・柏高島屋盲導犬ふれあい広場 2回、桜井ホンダ FUNmeeting1回、チャリティーコンサート 3回、国際福祉機器展 1回、サイトワールド 1回 BIPROGY 社内販売 1回

B) その他社内販売、地域団体、取引先イベント

- ・ジョイフル本田瑞穂店、ジョイフル本田千葉ニュータウン店、日立システムズ、明治安田生命保険相互会社、ライオンズクラブ国際協会所属地域団体、伊勢丹浦和店催事他 全31回

(2) その他販売活動を行った。

- (i) 富士ハーネス併設ドッグランの使用料販売（富士宮）
- (ii) 盲導犬育成団体へのハーネス胴輪、ハンドル及び飼育用品販売
 - ・東日本、関西、中部、日本ライトハウス、いばらき
- (iii) 日本介助犬協会、中部盲導犬協会へのドッグフード販売
- (iv) 海外在住盲導犬ユーザーへの飼育用品販売
- (v) 視覚障がい者へのリハビリテーショングッズ販売（仙台）

(3) 運営協力及び商品協賛

日本盲導犬協会

- ・オンラインボランティア懇親会（神奈川）
- ・ビンゴ大会の参加チケットのネット販売、景品の協賛
- ・盲導犬育成チャリティーゴルフ大会商品協賛
- ・さく祭り景品協賛（仙台）
- ・IGDF カンファレンス 2026 キービジュアル製作及び記念品作成提案

日本介助犬協会

- ・介助犬フェスタ商品協賛（協力：ベストエバージャパン社）

(4) 支援、協力業務

日本盲導犬協会からの委託業務及び支援活動を行った。

- (i) ハーネス胴輪、ハンドルに関する販売他、管理業務

- ・胴輪、バーハンドルのメーカー企業との調整、使用後の修理サービス
- ・盲導犬ユーザーが購入後 1 年以内の補償対応
- ・協会使用本数の管理及び在庫資産の棚卸管理と報告 19 品種 166 点
- (ii) パピー委託用品
 - ・パピーウォーカーへの飼育に必要な用品準備
- (iii) 盲導犬ユーザーが必要とする用品の開発及び安価提供
 - A) 夜間歩行用ライトの開発
 - 盲導犬ユーザーを対象に、夜間歩行に関する現状調査を実施し、そのニーズに基づいたライトの開発を行った。
 - 翌年度秋以降での販売開始を目指している。
 - B) 暑さ対策グッズの商品開発と商品探索
 - メーカーと連携し、暑さ対策用バンダナの開発に取り組んだ。
 - あわせて、接触冷感素材の犬用衣類や濡らして使用する犬用衣類、クールマット等の暑さ対策商品の調査・選定を行った。
- (iv) その他
 - ・縫製内職ボランティアへの盲導犬専用コート、敷物の縫製作業依頼の調整及び材料の調達
 - ・盲導犬専用コートのサイズ直し、修理の対応、調整
 - ・飼育や犬用品に関する情報発信（メルマガ：月 2 回）

(5) フード事業

- (i) 日本盲導犬協会ドッグフード支援制度の運営
 - ・所属する盲導犬ユーザー及び飼育ボランティアの登録、管理
 - ・利用者推移及び利用状況の報告
 - ・指定フード及び推奨飼育用品の販売
- (ii) 関西盲導犬協会ドッグフード提供業務の運営
 - ・所属する盲導犬ユーザーの登録及び利用状況の報告
 - ・指定フード及び飼育用品の販売
- (iii) その他販売
 - ・全国の盲導犬ユーザー、飼育ボランティアへのドッグフード及び飼育用品販売
 - ・個人向けドッグフード販売価格据え置きでの提供を継続
- (iv) ドッグフード在庫
 - ・欠品や災害等有事に備え、利用者のフード約 500 袋を常備した。
 - 仙 台 (約 340 袋) : アイムス、ユーカヌバ、アボダーム、スーパーゴールド、
ニュートロ、プロプラン、ロイヤルカナン、ヒルズ、
ドクターズ、ホリスティックレセピー製品
 - 神奈川 (約 145 袋) : ホリスティックレセピー、プロプラン、
スーパーゴールド、ロイヤルカナン製品
 - 富士宮 (約 15 袋) : プロプラン、ユーカヌバ、ロイヤルカナン製品
 - ・ドッグフードの欠品、終売時、多様な方法での商品確保を行った。

- (v) 日本自動車販売協会 神奈川支部によるドッグフード寄贈対応
・盲導犬ユーザー1名に対し、ドッグフードの寄贈対応を実施した。
ロイヤルカナン ゴールデンレトリバー 13 kg 計2回

2. 法人営業

(1) チャリティーグッズ大口受注

企業、学校、保育園、ボランティア団体へ向けて、販促品、記念品、イベントでの販売品、ユニフォーム、社内備品等において盲導犬チャリティーグッズの活用提案及び販売を行い、各所ニーズに応じた盲導犬普及活動へ寄与した。

東日本盲導犬サポーターの会、PEPPY、関西盲導犬協会、大和、commons、サニクリーン、MIKI-500、荻窪法人会、ヤマザキ動物専門学校、WANCOTT、榛原、瀬戸内海放送、IHG・ANA ホテルズ労働組合連合会、他全 51 社

(2) オリジナルグッズの受注製作

支援企業、法人に対し、より独自性を持たせた盲導犬普及活動として、コラボデザインによる営業販促品、ユニフォーム、カレンダーなどの立案。その他、企業の社会貢献活動提案からの、オリジナル商品におけるデザイン制作、商品受注、納品を行った。

小泉、NODA レーシングコンサルタンツ、安藤・間、日立システムズ、コスモ技研、エムエム建材、ゆみ動物病院、ヤマト電機、フォレストモモ、平和会ペットメモリアル、ナンセイ SHIPPING、サンギ、オンデーズ、ハイメン他全 50 社

(3) 盲導犬チャリティーボックスの普及活動

ペット用品売り場での、継続した盲導犬チャリティーグッズ販売コーナーの設置や、チャリティーグッズ販売代理店を広め、グッズ販売を通じた盲導犬普及活動に寄与した。

販売代理店：新規 5 店舗を含む全 41 店舗

ペット用品売り場販売コーナー：ジョイフル本田 19 店舗

(4) 「盲導犬サポート SHOP」カタログの スポンサー獲得

年 4 回定期発行、「盲導犬サポート SHOP」カタログの広告スポンサーを獲得した。カタログ及びパンフ媒体による企業 PR の場を提供し、スポンサー企業商品の販路拡大を図った。

ケンプ、ヒライ企画、ビクセン、平和会ペットメモリアル、アスク、ネスレ日本、BSP、ハイメン、ニックナック、ソーシン、アドバンス他全 16 社

(5) 盲導犬応援プロジェクトの スポンサー獲得

盲導犬応援プロジェクトの「声かけパンフ」を広めるため、企業スポンサーを募り、企業、法人を通じてのパンフの普及に寄与した。また、店舗、病院、盲導犬ユーザー、ボランティアを通じた設置配布、郵送書類への同梱先を開拓し「声かけパンフ」の広域な配布活動を行った。

スポンサー：泉屋東京店、サンギ、スタイル、スイートルーム、奥本いろは堂、

東洋化学商会、共進建設、ネスレ日本、ニックナック、安藤・間、
ピーアンドディーヒロサワ、東京都トラック協会他全 20 社

(6) ライセンス契約商品を通じた盲導犬普及活動

ライセンス契約による盲導犬コラボ商品企画提案とその開発により、企業先販路での
商品流通を通じた盲導犬普及活動に寄与するとともに、商品企画の実現をした。

サンギ、泉屋東京店、ハーモニック、ピージーデザイン、丸眞、BSP、ベリー、
メーカーズシャツ鎌倉、TRYL、ヒライ企画、FMP、ソーシン、他全 26 社

(7) 支援、協力業務

日本盲導犬協会への協力業務を行った。

- ・職員用ユニフォーム製作
- ・スポンサーロゴ入り盲導犬 PR コート製作
日立ドキュメントソリューションズ、そごう
- ・IGDF2026 横浜大会 キービジュアル製作・お土産品セットご提案
- ・啓発用敷物への JGDA ロゴ刺繍名入れ

ハーネス胴輪・ハーネスハンドル (U 字・バー) 製作を行った。

関西盲導犬協会、北海道盲導犬協会、日本盲導犬協会

(8) 企画・運営

(i) 主催イベント

2025 盲導犬サポート SHOP ファンクラブと盲導犬ユーザーを対象とした、「富士
ハーネス見学バスツアー」を開催。富士ミルクランドでの、バターづくり体験を通
して、盲導犬ユーザーとファンクラブとの交流を深めた。

盲導犬ユーザー 25 名 (盲導犬 24 頭)

所属：日本盲導犬協会、日本ライトハウス、アイメイト、九州盲導犬協会
FANCLUB 39 名、スタッフ含む計 71 名

(ii) 年賀状、カレンダー

協力企業運営のもと、年賀状カレンダーを通じた盲導犬の普及活動を行った。

- | | | |
|----------------------|------|----------|
| ・2026 年盲導犬チャリティー年賀状 | 発行枚数 | 27,990 枚 |
| ・2026 年補助犬応援団カレンダー | 発行部数 | 1,310 部 |
| ・2026 年うちの子チャリティー年賀状 | 発行枚数 | 600 枚 |

(iii) 催事出店

株式会社 withdog.jp のご協力により、伊勢丹三越浦和店にて開催。コロナ禍以来
の実施となった。

(iv) 募金活動

コミックシティ (イベント販売) にて、日本盲導犬協会への募金活動を行った。

計 10 回 募金総額 : 537,389 円

3. 通販事業

(1) WEB 通信販売

- ・「盲導犬サポート SHOP」 <https://www.gomoudouken.net>
会員数：47,308人（昨期比1,059名増）
チャリティーグッズの販売、盲導犬・被災犬応援プロジェクトを展開した。
- ・「盲導犬生活サポート SHOP」 <https://www.gogomoudouken.net>
会員数：3,188人（昨期比355名減）退会済会員を除く
全国の補助犬ユーザー、飼育ボランティア情報の管理・飼育用品及びドッグフードの販売を行った。また、補助犬ユーザーへ向け、犬用品の情報収集・提供並びに企業協力による特価セールや暑さ対策品のプレゼントを実施した。

(2) 季刊カタログの発行

- (i) 4月：盲導犬サポート SHOP Vol.77 20p
 - ・陽射しの強くなる季節に、かけ替え不要の調光レンズサングラスの販売を開始。目の保護の重要性を訴求し、多くの利用者に受け入れられた。
 - ・WEB先行販売として実施したルートートとのコラボバッグは、犬好き層を中心に高い評価を得た。
- (ii) 7月：盲導犬サポート SHOP Vol.78 20p
 - ・酷暑を乗り切るクールグッズを掲載。毎年進化するドライTが人気となった。
 - ・通販20周年記念企画としてエコバッグを制作し、注文者特典として多数配布した。
- (iii) 10月：盲導犬サポート SHOP Vol.79 20p
 - ・通販20周年記念企画第2弾として、創刊号掲載のチャリティーグッズ第1号ステッカーを復刻し、注文者特典として配布した。
 - ・サポートが学べる卓上カレンダーを昨年に続き制作。販売数も伸長し、定番商品として定着した。
- (iv) 1月：盲導犬サポート SHOP Vol.80 20p
 - ・盲導犬サポート SHOP ファンクラブ第10期の募集を実施。10周年記念として特典内容の充実を図った。会員総数は微減となったものの、記念施策により再入会および新規入会の増加が見られた。会員ニーズを反映したコースを新設し、全4コースへと拡充、展開した。

(3) 盲導犬チャリティー年賀状

17年間にわたり委託事業者による運営を継続してきたが、はがき料金の値上がりや、社会的な年賀状離れが進む中、受注・対応・発送体制を社内運営へ移行し、継続的な年賀状企画の実施を行った。

(4) 応援プロジェクト

(i) 盲導犬応援プロジェクト

盲導犬ユーザーと盲導犬が、より安心安全に歩ける社会を目指す。

- ・「声かけパンフ」総配布数：1,356,900部（昨期比73,000部増）

盲導犬ユーザーへのお手伝いの方法が分かるA6サイズの冊子を、広く配布し声かけを広める。

■主な協力・配布企業、団体等（順不同・法人格略）

- ・声かけパンフ

スイートルーム、奥本いろは堂、東京化学商会、共進建設、ネスレ日本、ニックナック、泉屋東京店、ピーアンドディーヒロサワ、安藤・間、BSP、サニクリーン、フォレストモモ、東京都トラック協会足立支部、荻窪法人会、サンギ、コスモ技研、ビクセン

- ・エルくん熊手ステッカー

盲導犬ユーザーが気持ちよく過ごせたお店に、ユーザー自身が配布するステッカーが全国の様々なお店へ配布された。累計1,350枚

(ii) 被災犬応援プロジェクト

福島県の被災犬保護シェルター「SORA アニマルシェルター」と連携を取り、必要な支援を行った。

- ・シェルター全頭分のノミ・ダニ・フィラリア駆除薬：累計975個

- ・ドッグフード：736kg

- ・医療費補助：2,268,891円

- ・震災直後から施設で暮らしていた高齢犬が新たな家族に迎え入れられたことを受け、報告および記念キャンペーンを実施。多くの支援者から祝福と参加を得た。

- ・保護猫の受け入れ増加に伴い、飼育頭数の拡大が確認されたことから、2月に保護猫支援キャンペーンを実施。必要物資を迅速に提供し、飼育環境の維持・向上に寄与した。

(4) 広報活動

(i) 電子メディアの運営

A) WEB ページ

- ・公式サイト <https://goguidedogs.jp>
会社概要、採用情報、各プロジェクトや犬と暮らす方へ向けたコラムを掲載

- ・通販サイト

チャリティーグッズの販売 <https://www.gomoudouken.net>

ドッグフード・飼育用品の販売 <https://www.gogomoudouken.net>

B) メールマガジン 20,214名（昨期比569名増）

オススメ商品及び犬と暮らす方へ向けた情報、プロジェクト報告の定期配信

C) SNS

- ・Twitter：盲導犬総合支援センター 8,850 フォロワー

- Twitter : もうどう犬エルくん
<https://twitter.com/goguidedogs>
8,526 フォロワー
- Instagram : 盲導犬サポート SHOP
<https://twitter.com/moudoukenlkun>
10,396 フォロワー
https://instagram.com/goguidedogs_design

(ii) メディア掲載

- プレスリリース等の対外広報活動を一時的に見直し、より即時性・継続性の高い SNS を中心とした情報発信に注力した。

(iii) SNS での発信強化

- WEB 先行販売商品「違うって楽しいソックス」
Instagram での事前告知およびキャンペーン展開を実施。認知拡大を図るとともに、盲導犬への理解促進のきっかけ創出に寄与した。
- 点字の日企画「クイズ参加およびゆかりカートイン、X フォローならびにフォローかつ点字投稿者へゆかりプレゼント」
WEB 上の特設ページにてクイズ施策を展開し、X での告知およびキャンペーンを実施した。新規フォロワーの獲得および点字写真投稿者を含め、計 8 名の参加につながった。
- Instagram にて、盲導犬への理解促進を目的とした漫画コンテンツの発信を実施した。
日本盲導犬協会発行の「盲導犬くらぶ」に掲載された盲導犬ユーザーおよび育成ボランティアの記事をもとに、漫画として描きおろした。
また、盲導犬ユーザーが講演時に配布する「声かけパンフ」の製作スポンサーと連携し、パンフレットの啓発内容をもとに、一般生活者の具体的な行動を想起させるストーリー型漫画コンテンツを制作し、10 テーマ（計 33 投稿）の発信を行った。
漫画という親しみやすい表現を通じて、盲導犬および視覚障害に対する理解促進の新たなアプローチの有効性を確認した。

II. 管理・運営・寄付・他会計

1. 理事・顧問・監事・従業員状況（令和8年3月31日時点）

理事 3名、監事 1名、社員 3名、パート 9名

2. 理事会及び社員総会の開催状況

(i) 理事会及びOperation MTG

開催日：2カ月毎第4週1回

議事：月次決算報告、日常業務の執行及び重要業務の協議決定

(ii) ステアリング committee

開催日：2カ月毎第4週1回

議事：体制、課題と成長戦略

(iii) 社員総会

開催日：令和7年5月29日

第1号議事：事業報告、決算の承認及び監査報告

1 貸借対照表

2 損益計算書（正味財産増減計算書）

3 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属書類

第2号議案：理事及び監事改選に関する件

第3号議案 代表理事の役員報酬額決定に関する件

なお、本総会をもって高橋代表理事が退任した（在任16年）

3. 寄付金

日本盲導犬協会：2,030,000円（累計額：21,507,737円）

4. 他会計（非営利事業）

富士急トラベル株式会社が実施した受注型企画旅行（参加者64名）について、参加費を預り金として取りまとめ、同社への旅行代金支払いに充当した。

■ 収入：478,020円

A) 個人寄付：0件 0円

B) 法人寄付：1件 134,340円

C) その他：15件 343,680円

■ 支出：505,940円

A) 活動費：19,140円

B) 管理費：200円

C) その他：486,600円

■ 収支計 △27,920円

詳細に関しては、附属明細書に収支表を記載する。

Ⅲ. 附属明細書

1. 他会計収支計算書（非営利事業）

前年度繰越金額： 152,363 円

収入の部

科目	区分	適応	金額
寄付	個人 (個人名省略)		
	法人	(株) ベルカディア	134,340
その他	入金	利息	480
	預り金	富士ハーネスバスツアー参加費	343,200
	振替	一般会計からの借入金	
当期収入合計			478,020

支出の部

科目	区分	適応	金額
管理費	事務費	振込手数料等	200
	旅費交通費		
	会議費		
活動費	特定寄付		
	プロジェクト		
	盲導犬ユーザー	ドッグフード支援	19,140
その他	返金		
	預り金精算	富士急トラベル (株)	486,600
	一般会計振替		
当期支出合計			505,940

次年度繰越金額： 124,443 円